



令和7年度 東京都北区立王子桜中学校

令和7年8月 第5号

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子 2-7-1

Tel 03-5902-3155

王子桜だより

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 自主 創造 飛翔

《6月23日（月）からあいさつ強化週間》

6月23日（月）～27日（金）は、「あいさつ強化週間」でした。1週間に渡り、生徒会役員と生活委員会の皆さんが、雨が降る日が多い中、大きな声であいさつをしてくださいました。登校する小中学生の皆さんも、明るく元気にあいさつを交わしてくださいました。振り返りシートを活用して、一人一人があいさつの大切さを再確認し、さらに自ら積極的にあいさつできるように取り組みました。生徒会役員の皆さん、生活委員会の皆さん、連日早朝より本当にありがとうございました。



《渋沢栄一翁ゆかりの地である深谷市、北海道清水町とのリモート会議が行われました。》

7月3日（木）新札発行一年を記念して、渋沢栄一翁の精神を受け継ぎ未来のまちづくりに繋いでいくため、深谷市と北海道清水町と北区の代表がリモート会議を行いました。深谷市10校と北海道清水町2校の代表生徒12名、北区からは王子桜中3年生尾形さん、高木さんの2名と堀船中から3名の生徒さんが参加してくださいました。尾形さん、高木さん



さんは、中学校3年間の防災教育で培ってきたことについて話してくださいました。修学旅行でも、阪神淡路大震災で被災した神戸の街を訪ね、防災について深く学ぶことができました。この深い学びを未来のまちづくりに活かしていきたいという強い思いを感じました。現在の中学3年生は、2011年東日本大震災の時には、生まれたばかりの赤ちゃんだったり、まだお母さんのお腹の中にいたりしました。電気やガス、交通網、病院等が麻痺する中で大きな不安を抱え、ご家族の方々が小さなかけがえのない命を必死に守って育ててくれたおかげで、今、元気に中学校生活を送っていらっしゃる事への感謝の思いも伝わってきました。参加した全員が改めて防災教育の大切さに気付かされた瞬間でした。

かつて渋沢栄一翁は、関東大震災で兜町の事務所が被災し、瓦礫の下から命からがら逃れました。幸いなことに、飛鳥山の渋沢邸は、部分的な被害を受けるにとどまりました。栄一たちは埼玉県から米を取り寄せ、滝野川町に炊き出しを斡旋し、渋沢邸をその拠点にしました。当時栄一は83歳。資産家の家を焼き討ちにするというデマもあり、栄一の身を心配した子どもたちは事態が落ち着くまで故郷深谷への避難を勧めます。しかし、栄一は「わしのような老人は、こういう時にいささかなりとも働いてこそ、生きている申し訳がたつようなものだ」としかりつけて、数多くの震災救護・救援を積極的に進めました。そして、すぐに当時内務大臣の後藤新平と共に壊滅状態の東京の復興支援に全力を傾けたのです。そのおかげで、現在の国際都市東京の姿があるのです。残念ながら、会議進行の関係で、準備してきた「渋谷栄一と関東大震災」の話や、「未来の防災都市北区の構想」などを伝える時間はありませんでした。王子桜中や堀船中が今回の会議のために準備したことは、単なる渋沢栄一翁の精神論だけではなく、近未来の北区のまちづくりを具体的にどうやって行っていくかをよりクリエイティブに考案したものでした。そして、生徒一人ひとりが起業精神を抱いて、自分ごととして、今ある資源や機能等の活用方法や新たなものを作り出すアイデアを相互に連携・協力を図り、地域社会の持続的な発展に寄与していくことこそが、渋沢翁の精神の普及啓発にも繋がるのだと今回の会議を通して強く感じる良い機会となりました。

《2年生職場体験を行いました。事業所の皆さまご協力ありがとうございました！》

7月2日（水）～4日（金）までの3日間、2年生は職場体験を行いました。職場体験を通じて、働くことの意義を実感するとともに、一般社会での礼儀やマナーを学ぶ機会にもなり、学校内ではできない充実した体験をすることができました。ご協力いただいた52の事業所の皆さまには、改めて心より感謝申し上げます。また、3日間各ご家庭でお弁当の準備などご協力いただきまして本当にありがとうございました。



《道徳授業地区公開講座を行いました》

7月12日（土）土曜授業日に、道徳授業地区公開講座を行いました。1・2年生は、渋沢栄一翁副読本を使って、「働くことの意義・働くということ」をテーマにしました。3年生は、9日に道徳の授業で、道徳の教科書の地域愛の教材を学んだ上で、身近な地域（王子）について知り、グループで決めたテーマで、調べ学習を行い、学びポケットに画像を取り入れてわかりやすく発表してくれました。たくさんの皆さまにご来校いただきまして、保護者の皆さまや地域の方々と道徳授業の参観を通して子どもの豊かな心の教育について考え、道徳教育の在り方や連携を深めることが出来ました。意見交換会にも出席いただきまして本当にありがとうございます。



《祝 創立二十周年記念ロゴデザイン 1年生珊瑚さんの作品が選ばれました！》

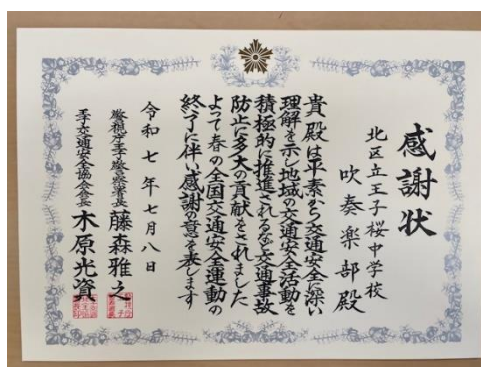


創立二十周年記念ロゴデザインの作品応募を行い、生徒の皆さん、教職員、周年実行委員の地域の皆さんからの投票の結果、1年生珊瑚さんの作品が創立二十周年記念ロゴデザインに選ばれました。本当におめでとうございます。

珊瑚さんの作品は、これから周年記念の横断幕や記念品のロゴに使わせていただきます。応募いただきました24名の生徒のみなさん、本当にありがとうございました。記して感謝申し上げますとともに記念品（ボールペン）を贈呈させていただきます。

《祝 吹奏楽部 王子警察署長・王子交通安全協会より表彰されました》

7月8日（火）王子警察署において王子桜中学校吹奏楽部が、王子警察署長・王子交通安全協会より「交通事故防止寄与団体」として表彰されました。本当におめでとうございます。阿久津が代表で表彰状を受け取ってまいりました。吹奏楽部は、昨年度の「交通安全のつどい」で素晴らしい演奏をしてくださいました。またそれだけではなく、演奏の後に「高齢者輪投げ大会」のお手伝いもしてくれました。美しい音色と美しい心で地域に貢献してくださり、本当にありがとうございました。



暑い日が続きますが、体調には十分気をつけて8月のコンクールに向けて頑張ってください。

《祝 卓球女子 北区大会団体 3 位女子シングルス都大会出場》

6 月 29 日（日）北区中学校夏季卓球大会が赤羽体育館で開催されました。王子桜中卓球部は男女とも大健闘しました。その結果、女子団体は 3 位入賞を果たしました。女子シングルスで 3 年生の鎌田さんが 2 位となり、3 年生の太田さんがベスト 8 に入り 2 人とも都大会出場権を獲得しました。本当におめでとうございます。当日応援に行けずすみませんでした。都大会も頑張ってください。



【株式会社「なとり」のさらなる発展】

《なとりと大相撲》

大相撲の本場所では、「なとり」の文字が入った着物を着た呼出しさんを見かけます。

なとりは、公益財団法人日本相撲協会の「オフィシャルトップパートナー」の一社で、日本相撲協会およびすべての力士の活躍をサポートしています。なとりと大相撲との関係は、1949年頃、初代社長 名取光男氏が海産物の仕入れの為に通っていた築地市場の同業者の誘いがきっかけでした。

たまたま時津風部屋を最頂（ひいき）にしていた方から当時の人気横綱・双葉山を紹介していただき、同じ時津風部屋の関取・若葉山（現在活躍されている若隆景と若元春の祖父）の東京後援会長を引き受けたのが相撲との縁でした。



呼出しさんの着物に「なとり」の名前

【提供 株式会社なとり】

主な仕事ですが、場所ごとの土俵作りや維持、寄せ太鼓やはね太鼓の合図、懸賞金や懸賞幕の手配など、大相撲の運営に欠かせない縁の下の力持ちとして、土俵周りの様々な業務をこなしています。

「なとり」の文字を背にした相撲の呼出しさんが扇子を右手に、東西に控える力士を呼び出す様子を絵にし、これを製品パッケージにも入れていました。

呼出しさんの着物に「なとり」の名前。戦後の大相撲は、苦しい時代が長く続きました。とくに呼出しさんはお金もあまりなく、1953年カラーテレビ放映が始まるにもかかわらず、土俵の上に着て出る着物にも不足していました。『なんとか作ってくれる人はいないのか』との呼びかけに対し、応援するかたちで「なとり」の名前を入れた着物の提供を始めました。

呼出しさんは多種多様な仕事をしていますが、3 大仕事と言えば、呼び上げ、土俵整備、太鼓叩きです。力士の四股名を独特な節回しで読み上げる「呼び上げ」が



株式会社なとり本社

【提供 株式会社なとり】



製品パッケージ 呼び出し

【提供 株式会社なとり】

《人気商品の開発にあくなき研究》



チーズプリティン

【提供 株式会社なとり】

1982 年の発売以来、看板商品となったチーズ鱈は、もはや改良の余地がないと思うほどの満足度ですが、実は様々な深化と進化を遂げています。例えば期間限定品。これまで桜（桜餅に似た風味）、枝豆、トウモロコシ、ゆずなど旬の味わいをチーズに加えました。一袋で乳酸菌（EC-12 株）1000 億個が摂れたり、同じく一袋で 1 日の 3 分の 1 のカルシウムが摂れる健康志向シリーズなどがありました。

こうした商品企画や一般の消費者に集ってもらいニーズを聞き取るグループインタビューから、試作品のテスト、価格やボリュームの検討、PR に至るまでマーケティング・R&D 開発本部が、日々並々ならぬ努力をしているのです。

さらに、なとりでは、社会貢献のひとつとして、毎年、北区在学の子どもを対象とした「出前授業」を実施しています。「チーズ鱈セミナー」では、原料であるチーズの栄養や鱈の生態について理解を深めてもらい、「チーズ鱈」を身近に感じてもらえる活動を展開しています。また、噛むことの大切さも伝えるなど、食品メーカーならではの食育セミナーで社会に貢献しています。

さらに、2024 年には、プロテイン入り Z 世代向けおやつ系チーズ「チーズプリティン」が発売されました。

この商品は、日本薬科大学の協力のもと、東京都北区の成立学園中学・高等学校の高校生からアイデアを募って製品化した、高校生との共同開発製品です。産学連携の一貫として、社員の方が学校を訪れて商品開発の授業を行い、高校生に「自分たちが買って食べたいと思えるチーズおやつ」を提案してもらいました。企画立案はチーム



日本薬科大学さいたまキャンパス
【提供 日本薬科大学】

対抗で、高校生自らプレゼンテーションをし、その中から最も優れたアイデアとして「チープリテイン」が選ばれました。ちなみに、「チープリテイン」とは、チーズ・プリン・プロテインを併せた造語です。「チーズ」と「プリン風味」のありそうでなかった意外な組み合わせが驚きと楽しさを演出します。おいしく気軽にたんぱく質を摂取できる「チープリテイン」が生まれました。パッケージデザインにも躍動感ある高校生のイラストを載せています。

「おつまみをもっと多くの人に、様々なシーンで食べていただきたい」というなりの思いと、高校生の「本当に自分が買って食べたいと思える製品を作りたい」という思いが重なって、新しいチーズ製品の開発ができたのです。

本校の家庭科部の皆さんが、この商品開発に携わった成立高校の卒業生(大学1年生)にインタビューをしてきてくれました。

実際の企業・大学と連携し、本物の商品開発に関わることができた高校生のお話を聞いて、いつか自分たちも、アイデアを形にし、多くの人に喜んでもらえる製品を作りたいという強い思いを抱きました。

その他にも、プリッとした食感と、チーズを配合したコク深い味わいで、手軽にたんぱく質も摂れる「チーズ in かまぼこ」で、2024年にアニメ「クレヨンしんちゃん」とのコラボレーション企画として第1弾を販売し、好評で、第2弾が実現し今店頭に並んでいます。

今回は『映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンスーズ』の公開に合わせたコラボレーションパッケージを期間限定で発売しました。

「クレヨンしんちゃん」は、お子様だけでなく、そのご家族をはじめとした大人の方まで幅広い層から支持されています。しんちゃんと家族、そして仲間たち(カスカベ防衛隊)をパッケージにあしらうことで、これまで「チーズ in かまぼこ」を知らなかった方にも「親子で楽しむおやつ」として認知していただき、実際に楽しんでいただくきっかけになるようコラボレーションを実施し、より幅広い世代に愛される商品となるよう日夜努力しているのです。

いつか食を通じて社会貢献したいと、長野県から上京した後に精米店として創業し、現在の株式会社なとりを起業した初代社長の名取光男氏の勤勉さと開拓精神が今もなお、「“あくなき食への探求心”に基づく『ものづくりへの情熱』」として引き継がれているのです。



王桜中学生徒 成立高校卒業生にインタビュー
【提供 成立学園】



成立学園【提供 成立学園】



クレヨンしんちゃんパッケージ「チーズ in かまぼこ」

©臼井儀人／双葉社・シンエイ動画・テレビ朝日・ADK 2025

【提供 株式会社なとり】